

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームわかば

(ユニット名)

2階

記入者(管理者)

氏名

山田 篤志

評価完了日

平成 19 年 6 月 4 日

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月17日

【評価実施概要】

事業所番号	3870104308		
法人名	有限会社メディケアサポート		
事業所名	グループホームわかば		
所在地	愛媛県松山市若葉町7-6		(電話) 089-968-3530
管理者	山田 篤志		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年6月14日	評価確定日	平成19年7月17日

【情報提供票より】

平成19年6月4日事業所記入

(1) 組織概要			
開設年月日	平成16年9月8日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	11人, 非常勤 7人, 常勤換算 16.25人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有( 円)	(無)	
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3) 利用者の概要 (平成19年6月4日現在)			
利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護1	5 名	要介護2	6 名
要介護3	4 名	要介護4	1 名
要介護5	2 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85 歳	最低 73 歳	最高 100 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 (あり)・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 (あり)・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>事業所の各所に生花をさりげなく生ける等、雰囲気作りに気配りをされている。                  事業所でのもちつきや夏祭り等に地域の方をお誘いし、参加いただいたり、日ごろも近所の方が気軽に立ち寄ってくれている。                  職員は、両ユニットで協力して行事を行ったり、日々行き来することで事業所のすべての利用者と顔馴染みとなっている。                  今後は、事業所の見学や認知症介護教室、悩み相談等に取り組んでゆかれるような予定を立てておられる。</p>
---

【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の外部評価結果を受けて、職員の利用者への対応についても研修を重ね、具体的な取り組みを行っておられた。</li> </ul>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価はユニットごとに職員全員の意見を出し合い、話し合いを行って作成しておられる。</li> </ul>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族から「すべての職員の顔と名前を分かるように」とのご希望や、地域の方から「利用者のできることは自分でするようにした方がよい」等の意見や要望をいただき、運営に反映できるよう取り組まれている。</li> </ul>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族には事業所便りや電話、来訪時等に報告をしておられる。又、運営推進会議やご家族来訪時等に意見を出していただけるよう働きかけをされている。</li> </ul>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所では、地域の行事は回覧板にて情報を得て、必ず参加されている。事業所でのもちつきや夏祭り等、地域の方をお誘いし、日頃から気軽に訪問してもらえるよう関係作りをされている。</li> </ul>

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			創立以来理念の変更はなく、常に目のつく場所に掲示し、日々振り返るようにしている。		
			(外部評価)		
			「人生の継続性を大切にしてその人らしく暮らす」という事業所の理念には、利用者が地域の中でこれまでと変わらず、その人らしく暮らしていくこと、という意味も含まれており、利用者が地域と交流できるよう取り組まれている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			各フロアに掲示し、理念をいつでも見えるようにし、共有し実践するようにしている。		
			(外部評価)		
			現在、事業所の理念について話すような機会は少なめである。		事業所がどのようなことを目指していくのか、と一言を職員で共有しながら、実践していけるような取り組みが期待される。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			施設入り口に掲示し、面会や、来所された時に見ていただけるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価)  出勤時や、散歩、買い物に行く時など、気軽に挨拶をしている。		以前よりも、徐々にではあるが、外でお会いした時には世間話も多くなってきているが、もう少し、情報の交換などが出来るように取り組みたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価)  地域で開催される、運動会や、非難訓練、消防訓練、清掃活動など、積極的に参加するようにしている。  (外部評価)  事業所では、地域の行事は回覧板にて情報を得て、必ず参加されている。事業所でのもちつきや夏祭り等、地域の方をお誘いし、日頃から気軽に訪問してもらえよう関係作りをされている。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価)  消防設備や、非難器具の設置場所として、地域には提案しているが、その他の事項についても、今後検討していきたいと、思います		今後、地域の会などにも参加させていただくように取り組みたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価)  自分たちではきずけなかった、改善が必要なところを知る機会であり、改善に取り組むようにしている。  (外部評価)  自己評価はユニットごとに職員全員の意見を出し合い、話し合いを行って作成しておられる。又、前回の外部評価結果を受けて、職員の利用者への対応についても研修を重ね、具体的な取り組みを行っておられた。		職員が常に、第三者の立場でも考えられるようにしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)		
			<p>2ヶ月に一回ではあるが、開催し、地域の方や、家族様、利用者様の意見を聞き、反映するようにしている。</p>		<p>毎回のテーマや、近況報告を行い。その都度参加者から意見をいただけるように取り組んでいる。</p>
			(外部評価)		
			<p>ご家族から「すべての職員の顔と名前を分かるように」とのご希望や、地域の方から「利用者のできることは自分でするようにした方がよい」等の意見や要望をいただき、運営に反映できるよう取り組まれている。</p>		<p>2階3階ユニットとも、全職員の顔写真と名前を掲示する等の取り組みを検討されていた。</p>
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>電話での相談が、主になっているが、不明な事や、解決策などについては、その都度相談するようにしている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>市の担当者とは頻繁に相談をされており、連携してサービスの向上に取り組んでおられる。</p>		
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>今後、研修会等の参加を予定しているが、知識不足はあり、今後の課題のひとつでもあります。</p>		
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>虐待防止法が施行されて以来、資料を配布し、その都度注意をし、啓発するようにしている。職員同士で注意をするようにしている。</p>		<p>職員同士が注意をしあえるように取り組んでいるが、話し方などの言葉使いに、疑問を感じることもある。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 重要事項など、説明は十分に行い、同意を得るようにしている。退去後については、相談等いつでもできるように、話をしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 直接の面談や、苦情箱を設置している。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月の事業所便りの他、電話で連絡をおこなっているが、今後は、毎月、個別の便りを作成し、より詳しくお伝えできるように、改善中		
			(外部評価) ご家族には事業所便りや電話、来訪時等に報告をしておられるが、来訪の少な目のご家族に対しての報告については十分でない、と事業所自身が感じておられる。		今後、個別にお手紙に書いたり写真を送付することも予定されている。個別の細やかな報告からご家族とさらに信頼関係を築いていかれることが期待される。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議や、日々の連絡などの際、要望や苦情を聞き、ミーティング等で相談し反映するように心がけている。		少数の家族様だけではなく、複数の家族様の意見を聴取できるように、取り組んでいきたい。
			(外部評価) 運営推進会議やご家族来訪時等に意見を出していただけよう働きかけをされている。現在、ご意見をいただけるご家族に限られるような傾向がある。		今後、ご家族に対してのさらなる細やかな情報提供から、ご意見をいただけるような取り組みへとつなげていかれることが期待される。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月の部署会や主任会、全体会を開催し、それぞれの意見を聞くようにしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 会議等で話し合う他、予定にあった、人員の配置を十分にできるようにしている。また、その都度勤務交代をするようにしている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 移動は最小限にしている、また、個別での話し合いを行い、対応している他、他の部署にいつでも行き来ができるようにこころがけている。 (外部評価) 職員は、両ユニットで協力して行事を行ったり、日々行き来することで利用者と同様顔馴染みとなっている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修の機会は常に設けている。個々の能力に応じた研修に参加できるように、施設長が計画を立てている。 (外部評価) 施設長は、職員の段階に応じた研修計画を作成し、研修への積極的な参加を推進しておられる。研修受講後は、報告書をまとめ、ユニットの職員会議時に報告をされている。		今後も定期的に研修を実施していくようにしたい

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			他の事業所への見学や、レクリエーション交流会を開催している。		他の事業所での、現場研修なども取り入れていくように検討している。
			(外部評価)		
			他の事業所を見学するようなこともあり、職員は、利用者への対応についてや雰囲気作りの大切さ等を感じておられた。気付いたこと等を事業所のサービス向上に活かしている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			それぞれ、個別での相談をできるように努力している。		職員レクリエーション等の実施などの機会を増やすようにしたい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			資格の取得などを薦めるなどを行っている。		勉強会や、研修会などを開催し、個人のモチベーションに合わせた能力を発揮でき、自信につながるようにしていきたい。
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			事前の面談や、入居時に聴取するようにしている他、個別での相談を行うように努力している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前の面談や、入居時に聴取するようにしている他、個別での相談を行うように努力している。アセスメントシートに記入していただけるように、説明をしている。		全職員が同じように聴取できるように取り組みたい
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 申し込みの時点で、聴取するほか、関連事業所での情報収集を行い、相談を行うようにしている、又、他のサービスの紹介も行うようにしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 利用前に見学を行っていただき、施設を気に入っていただくようにしている。 (外部評価) ご家族だけでなく、極力利用者本人にも見学していただき、事業所に馴染んでいただくよう取り組まれている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) ゆったりとした雰囲気を作るようにこころがけ、話をしたり、一緒に家事を行うようにしている。 (外部評価) 職員は、ご飯の炊き方、味噌汁の作り方、味付け等、利用者から教わりながら料理をされたり、地域の歴史や昔話等を聞くこともある。		雰囲気を壊さずに、継続できるように取り組みたい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者を含め、昔の話や、近況を話し、共通の会話を持ち、共に支えていけるようにしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) わかば便りの発行を行い、あまり面会等にこられない家族様にも様子がわかるようにしている。		連絡を密に取れない方には、個別の様子や本人の要望などを、手紙などでお知らせできるようにしていく予定。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) いつでも、電話や面会に来ていただけるようにしている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員が会話等の橋渡しや、きっかけを作れるように努力している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 連絡を取れる体制はしているが、あまり実績がないです。		サービス変更等で関わりを持つ場合には、相談援助を行うようにしている。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			普段の会話の中で把握できるように、色々な話をしている。		
			(外部評価)		
			食事の献立や飲み物の好み等、利用者に聴きながらケアに採り入れておられた。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			家族の方や利用者本人に話しを聞き、把握するように努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			共に過ごす中で、行動などを観察し、把握するように努めている。		日々の記録に記入することで、把握できることもあるため、記録をもっと活用したい。
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			担当者1人で作るのではなく、チームとなって、情報交換をしながら、作成している。		家族の意見をもっと反映していきたい。
			(外部評価)		
			今年4月からセンター方式の書式を採り入れ、利用者の情報をきめ細かく蓄積し、職員で話し合い、介護計画を作成しておられる。		さらなる質の高いケアを提供するためにもご家族等、ご本人に関わる人たちの意見や工夫を反映できるような取り組みも期待される。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)			
				基本的には3ヶ月を見直し期間としている。		状態の変化等が合った場合は、すぐにでも変更できるように、話し合いの場を持つようにしていきたい。
			(外部評価)			
			3カ月毎の定期的な見直しと必要に応じて随時見直しを行っている。		さらに、現状とずれのないケアを提供するためにも介護計画の見直しを充実していかれることが期待される。	
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)			
				介護記録は毎日記入している。		利用者の言動などをもっと記入し、様子の変化に気づけるようにしたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>						
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)			
				利用者、家族の要望の変化に対応するようにつとめている。		利用者、家族の思いを聞く機会を増やしていきたい。
			(外部評価)			
			事業所の見学や認知症介護教室、悩み相談等に取り組んでゆかれるような予定を立てておられる。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 演奏会・教室等ボランティアのかたに、協力をしていただき。相談をしながら実施している。		利用者主体となるような、計画や相談をしていきたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 訪問歯科等の利用はあるが、その他のサービス利用の実績がない。		どのようなサービスを利用可能か、今後相談等を行いたい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に来ていただく以外の協働実績がありません。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入所以前から通院している病院に行ったり、家族と話をし、希望される病院等に行くようにしている。		隔週、協力医療機関の往診があり、対応している。
			(外部評価) これまでかかっておられた病院への受診を希望する方については、隣接病院の医師が連絡をとり、適切な医療が受けられるよう支援しておられる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 必要な利用者は、受診日に受診するようにしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)  24時間の連絡体制をとっている。また、管理者は看護師の為、その都度対応している。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)  情報収集を行い、医療機関や、主治医と相談している。また、面会にも行くようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)  家族や本人の意向を聞き、相談を行うようにしている。  (外部評価)  事業所では、入居される際に、ご本人、ご家族の意向を聴き取っておられる。隣接病院と協力し合い、看取りを行えるような体制を作っておられた。		ターミナルケアのあり方を検討したい
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)  病状などの把握をするとともに、常に主治医と相談し、今後等についても話合っている。		今後、必要になる、ターミナルケアの指針なども取り入れ、職員が共通意識を持てるように取り組んでいきたい。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)  日々の情報を提供出来るようにしている。		サマリーなどを活用していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1.その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			個人情報是一人一人、個別にしファイリングしている。		接遇研修を行い、対応にも気をつけるようにしている。
			(外部評価)		
			外部講師による2回の接遇研修を行っておられる。利用者への言葉かけや対応を職員同士で確認し合うようにされている。調査時にも職員が利用者に穏やかに接する様子が伺えた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			難しい言葉等の表現を避け、理解しやすい言葉で伝え、選択しやすいように対応している。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			起床時間や就寝時間など、本人のペースで行っていただいている。		本人のペースで生活していただく中でも、生活のリズムが崩れないように支援していきたい。
			(外部評価)		
			食事途中に居室に戻られた方に対して、職員は、落ち着いた態度で声かけをされ、ご本人の意向を踏まえ、ゆっくりと食事ができるよう支援しておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 服等は買い物に行ける様にしている。美容師の方に訪問もしていただいているが、なじみの店に行ける様にしている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の状態に合わせて、台拭きや、食器洗い等を一緒にしている。  (外部評価) 利用者は、職員と共に食事の献立を決めたり、調理、盛り付け、配膳、下膳等、食事一連の流れに関わっておられた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 一緒に買い物に行き、いつでも嗜好品で楽しめるようにしている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンを把握し、声かけ・誘導を行うようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			曜日を決めているが、気分に合わせて変更し、入浴できるようにしている。		利用者の希望に沿ったものに変更できるように検討したい。
			(外部評価)		
			利用者ごとに入浴の曜日を決めておられるが、個々の要望に応じて柔軟に対応されている。希望によってシャワー等もされている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			希望に応じて、ソファや自室で休養できるようにしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			洗濯物をたたんだり、新聞を届けに行ったりと、出来ることを職員と一緒にしている。フロアで歌を一緒に歌われたりしている。		個人の趣味や特技を活かせるように支援しながらまだ、発見できていない所を見つけていけるように取り組みたい。
			(外部評価)		
			利用者ごとに料理や洗濯、花の世話などの役割を持っておられる。新聞を届けたり、チラシを見ながら食材等、買うものを決めておられる利用者もおられた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			買い物に行くとき等は、支払いを出来る方にはいただいている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			希望があった時には、天気や気温等に合わせて外出できるようにしている。		
			(外部評価)		
			季節の良いときには、1日1回買い物、散歩など日常的な外出をするよう心がけておられる。花見や地域行事等、外出する機会を多く作り、利用者の希望でアイスクリームを食べに出かけることもある。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			相談があった場合は、家族と相談し、日程等をきめて行っている。また、レクリエーションで、ドライブ等にも行っている。		機会を増やせるように取り組みたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			フロアの電話を使用していただき、ダイヤルが困難な方には、職員が代行しかけている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも、訪問していただけるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  生命に危険が生じない限り、拘束はしないようにしている。センサーマット等を使用している。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  夜間以外はかぎをかけていない。エレベーターも自由に使用できるようにしている。  (外部評価)  エレベーターは、利用者が自由に使用できるようされている。ドアの開閉は音が鳴るようにしておられた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  フロアからの見守りを行い、利用者の位置を把握するように努めている。		ゆとりを持って職務に勤めることを、継続できるようにしていきたい。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  個人の所有物は、家族と相談し、協力をしていただいている		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  薬は、袋に氏名、日付を記入し、服用時にチェックするようにしている。		リスク管理のうえでも、今以上に取り組んでいきたい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  急変時の連絡体制はとっているが、訓練を受けていない職員もあり、応急手当が出来ない職員もいる。		今後、内外部での、救命講習などを予定
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  年に最低2回は、消防訓練を実施している。地域の消防訓練にも参加している。  (外部評価)  年2回、消防署の協力を得て避難訓練を行っている。前回は夜間に火災が発生したことを想定して、避難訓練を行った。		予備知識の習得や、協力体制の確保への取り組みは、今以上に必要であると思われる為、より一層協力体制が整うようにしていきたい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価)  電話などで、その都度説明し、相談をしている。		こまめに連絡をとれるようにしていきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  少しでも普段と違うところがあれば、申し送りを行い、気づきが遅くならないようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)  薬局などで情報を頂き、薬の説明書等に目を通し確認をしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価)  繊維質の多いものを食事に使用するようにしている。おやつの際に牛乳を使用したりしている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価)  毎食後口腔ケアを実施、介助の必要な方は誘導し、出来る方は、声かけをしている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)  盛り付けの工夫をして、調節をおこなっている。  (外部評価)  病院の栄養士の立てた献立を参考にして、事業所で献立を立てておられる。食事の摂取量は日々記録されている。		病院の栄養士に相談したり、業者の資料を参考にしたりしている。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価)  マニュアルを作成したり、情報をファイリングして、取り決めてあるように対応するようにしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食器、調理用具は、食器乾燥機を使用し、熱消毒をしている。買い物も頻回に行き、新鮮さを保つようになっている。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>建物入り口や周囲に花を飾り、工夫はしている。</p>		<p>看板や、表札の工夫をして、親しみやすくしていきたい。</p>
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>夕日などの光の調整はカーテンで行い、フロアの掲示物も季節にあった物を作り飾るようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>共用の居間にはソファを置き、生花が飾られていた。つい立を立て、テーブル、椅子を置く等、利用者の心地よさに配慮した配置の工夫をされていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ソファで利用者同士が話せるように設置している。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			今まで自宅等で使用していた家具等を使用している。		
			(外部評価)		
			居室には、使い慣れたタンスや椅子等が持ち込まれており、写真や絵等が飾られていた。テレビを置かれている方もあった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			居室の換気扇を使用したり、利用者に声をかけ、窓を開けさせてもらっている。温度を確認し、日中の換気を行うようにしている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			不十分ではあるが、要所に手すりをつけ、歩行不安定な方でもつかまることが出来るようにしている。		手すりのないところは、つかまるものがない為、いつでも介助が出来るような位置で、少しはなれて見守りを行っている。(夜間特に)
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			1対1でゆっくり落ち着いて話すようにしている		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			1階やバルコニーの花にみずやりをしたり、花を見られて喜んでいる。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	会話をしていく中で、「外に毎日でも出たいんよ」など、話されたり、ちょっとした気持ちを聞くことで、掴んでいる。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	一緒にソファに座り、話をしたり、歌をうたったりする時間を持つ事が出来ている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	朝の起床時に声をかけないと起きられない方がおられるので、職員が声をかけて起床していただく事がある。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	居室のベッドの中でほぼ1日を過ごされる方が、おいでる。さんお願いします。と、何かをお願いすると不穏状態が落ち着き「どこに行ったらええの」と、はりきってくださる方もおいでる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	「今日どこか買い物に行かんの?」と、声をかけてくださり、一緒に買い物に行ったり、散歩に行ったりしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	状態変化があったときなどは、直ぐに主治医に連絡し対応できるようにしている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ゆっくり落ち着いて話を聴き、一緒にどうしたらいいか考えたりしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ③ 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時に聞くことがある。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 4 ほとんどない	家族の方や友人だけではなく、娘さんの友人なども訪ねてこられることもある。ほぼ、毎日訪問してくださる方もおいでる。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが広がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えている (自己 1 大いに増えている 評価) 2 少しずつ増えている ③ 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議以外でのつながりが、あまり増えていないように感じる。
98	職員は、生き生きと働けている (自己 1 ほぼ全ての職員が 評価) ② 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	スタッフに笑顔が多くなった。 利用者の変化について、対応方法など、積極的に考えられている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	もっと、外出がしたい、などの思いがあると思われる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 1 ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが ③ 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	まれに、クレームがあることも、あるため。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

残存機能を維持できるように、自分で出来ることは行ってもらっている。  
本人のやりたいことができ、楽しい日々が送れるように援助している。